

2025 年 2 月 20 日

世界有数の国際金融センター・香港での当事務所の取組について

香港事務所長 山本 大祐

1. 香港の金融市場の優位性について

1980 年代半ばまでの香港は、主に香港内で製造された製品の輸出が中心であったが、賃金や土地価格の上昇により製造コストが上昇し、製品の国際価格競争力が低下したため、委託製造業は委託加工、直接投資などの形で中国に工場を移転させた。

その後、香港では製造業に代わり貿易や金融業が重要な産業になっていった。

香港の金融市場の特徴は、低い法人税率や配当金・キャピタルゲイン非課税等の税制面、自由な資金移動や米ドルペッグ制、人民元オフショア市場である。

2024 年 9 月に公表された、世界の国際金融センターの実力を評価する「グローバル金融センターインデックス」の調査結果では、香港はニューヨーク、ロンドンに次いで第 3 位にランクインした¹。

また、スイスのビジネススクールの国際経営開発研究所（IMD）の「世界競争力ランキング 2024」では、香港が前年の 7 位から 5 位に順位を上げ²、カナダのシンクタンクのフレイザー・インスティテュートの「世界の経済自由度 2024」でも世界トップを維持しており³、これらの国際的な評価は、香港が世界でも有数の国際金融センターとして考えられていると言える。

2. 当事務所の今年度の活動について

本県も資産運用業や FinTech⁴企業などの誘致・集積に向けた取組みを行っている。当事務所としては、世界の中でも有数の金融センターである香港からの投資や福岡への進出を促すために、投資家やスタートアップ企業にまずは福岡について知ってもらうことが重要であると考え、今年度は以下の取組みを行った。

¹<https://www.longfinance.net/programmes/financial-centre-futures/global-financial-centres-index/gfci-36-explore-the-data/gfci-36-rank/>

日本国内では、東京が 20 位、大阪が 44 位にランクインし、福岡はランク外だが候補都市として名前が挙がっている。

²https://www.imd.org/centers/wcc/world-competitiveness-center/rankings/world-competitiveness-ranking/rankings/wcr-rankings/#_tab_List

³<https://www.fraserinstitute.org/sites/default/files/2024-10/economic-freedom-of-the-world-2024.pdf>

⁴ 金融（Finance）と技術（Technology）を組み合わせた造語で、金融サービスと情報技術を結びつけたさまざまな革新的な動きを指す。

(1) Asia Society Hong Kong Center (ASHK) との連携

10月28日に ASHK 主催の JAPAN セミナー「From Kyushu & Okinawa to Hong Kong: Building Sustainable Societies」に、ブース出展などによって支援を行った。

本イベントには、香港の金融機関関係者や投資家ら約170人が参加しており、香港からサステナブル投資を呼び込むことを目的に、福岡から参加した登壇者が、再生可能エネルギーの開発が進んでいる福岡の強みをアピールし、福岡に対する理解を深めてもらった。



(写真) JAPAN セミナーの様子

香港の投資会社の社員に聞いたところ、「福岡という場所は香港人にとっては観光地としてとても馴染みのある場所だが、観光資源だけではなく、投資対象としても魅力のある場所であると思った」とのことであった。

(2) Hong Kong Science & Technology Parks Corporation (HKSTP) 及び Hong Kong Cyberport Management Company Limited (Cyberport) との関係構築

香港政府が出資し、運営に関与している研究開発拠点である HKSTP 及び Cyberport を訪問し、担当者や日本の企業との連携を模索するスタートアップ企業との意見交換を実施した。

香港のスタートアップ企業においても、福岡についての知識は観光地という程度で、いざ進出を検討する時に選択肢に入る都市ではないという意見を聞いたことから、福岡での投資環境などを説明し、理解を得た。

3. 当事務所の来年度の活動について

香港では、投資先・進出先として福岡を考える金融機関や投資家はまだまだ少ないのが現状であるため、TEAM FUKUOKA の取組み、金融・資産運用特区に選ばれていること及び福岡は、東京・大阪との同時被災リスクが低いことを引き続きアピールしていく必要があると考えている。

また、既に世界有数の国際金融センターである香港から、福岡への投資・企業進出を増やすことによって、福岡は観光地というだけでなく投資・企業の進出先に成り得るという、ポジティブな印象を関係者に与えることができる。

そのために、当事務所は来年度、資産運用業などの投資家向けの取組として、香港の投資家などが集まるセミナーやパーティーに出展する予定である。

FinTech に関連したスタートアップ企業向けの取組としては、HKSTP 及び Cyberport を定期的に訪問し、日本に進出意志のある企業やデジタル分野において日本の企業との技術連携などを模索する企業を発掘し、福岡をアピールする機会を増やしていきたいと考えている。